令和５年度熊本県農福ジョブトレーナー研修会（県北地域）開催要領

１　目　的

本県では平坦地域から中山間地域まで一年を通して農業が盛んですが、人口減少等による人材確保が課題となっています。一方、福祉側では障がい者の施設外就労先として農業分野への就労を進めたい意向がありますが、障がい者の特性に応じ、作業内容を助言できる人材の不足により農福連携は進んでいない状況です。

このことから、作業改善の提案や障がい者の特性に応じ助言ができる人材の育成を目的に、農業者や JA 職員、障がい者就労施設の指導員、行政職員等を対象とした研修会を開催します。

２　主　催

熊本県（農林水産部生産経営局農地・担い手支援課）

３　実施方法

集合型研修

４　参加対象者

受講定員：３０名程度

※定員以上の申込みがあった場合は、先着順とさせていただきます。

（１）農業者、各農業協同組合、熊本県経済農業協同組合連合会、熊本県農業協同組合中央会、就労施設指導員等

（２）市町村職員、地域振興局農業普及・振興課職員

５　研修内容

日時：令和５年（２０２３年）　８月２９日（火）10:30～15:40

場所：【座学】熊本県農業大学校研修交流館（〒861-1113 熊本県合志市栄 3805）

【現地】有限会社高司農園（〒861-1103 熊本県合志市野々島 4393-77）

午前の部	
開会	(10:30～10:35)
オリエンテーション	(10:35～11:00)
【内容】農福連携の概要説明	
講義１　障がい特性に応じた農作業支援技法	(11:00～12:00)
【内容】障がい者の適性に応じた作業の切分けや注意点・工夫等ついて講話いただきます 【講師】株式会社インサイト　取締役　北野　喬士　様	
（昼食休憩）	(12:00～13:00)

午後の部	
講義２　農業側における農福連携の取組みについて	(13:00～14:00)
【内容】農業現場における農福連携の先駆的事例について講話いただきます 【講師】京丸園株式会社総務取締役　鈴木　緑　様	
（実地研修会場へ移動）	(14:10～14:30)
講義３　実例紹介及び作業切り分け実地研修	(14:30～15:30)
【内容】県北地域における実例紹介及び作業の切り分け実地研修 【講師】有限会社高司農園　高司　倫太郎　様	
事務連絡等	(15:30～15:40)

６　修了証の交付

受講生には研修修了証を交付します。

７　講師のご紹介

講義１：株式会社インサイト
取締役　北野　喬士　様

株式会社インサイトは 2007 年 9 月に創業。障害福祉分野に特化したコンサルティング会社です。全国各地で福祉事業所の工賃向上研修会や、障害福祉に関する調査研究・政策提言等の事業を実施されています。

農福連携関係では「農福連携における作業分担等の Howto 動画制作」(農林水産省関連事業)をはじめ、複数案件を担当されています。

北野様は 2009 年より株式会社インサイトのコンサルタントとして活動されています。また、ご自身も地元大阪府美岬町で NPO 法人を経営され、就労継続支援 A、B 型の多機能型で農福連携を実践されています。

講義２：京丸園株式会社
総務取締役　鈴木　緑　様

京丸園株式会社は静岡県浜松市において 2004 年に法人化。芽ネギ、チンゲンサイ、ミツバなどミニ野菜を周年栽培し、ＪＡとぴあ浜松への系統出荷により全国 45 市場への流通を主とされています。

「農を通した働きの場づくり」を目指し、1996 年より福祉機関と連携し、雇用および研修生の受け入れを開始。農作業や施設環境を障がい者目線で工夫し、ユニバーサル農業を県内外に発信され、ノウフクアワード 2021 でグランプリを受賞されています。

鈴木様は総務取締役として経理・労務・総務・心耕部を担当され、農林水産省において農福連携優良事例としても取り上げられ、本省主催の研修会において講演等も行っていらっしゃいます。

講義３：有限会社高司農園
高司　倫太郎　様

有限会社高司農園は 2002 年に合志市において法人化。観光農園として、主にいちご、ぶどう、桃を生産し、敷地内の直売所やカフェで提供され、除草剤などを使わない堆積腐葉土を作りや、減農薬での栽培など、栽培方法にもこだわり、生産をされています。

2022 年から就労継続支援 A 型事業所「風の森」との農福連携を開始され、現在は周年で作業を委託されるなど、積極的に農福連携に取組まれています。

高司様は小中学校の見学や体験、県立農業大学校の研修受入れや講師を担当される等、地域でも活躍されています。